

# 長浜市地域福祉活動計画 事業報告シート

※長浜市地域福祉活動計画事業評価シート（年間報告シート）の  
内容を補足する資料です

## — 目次 —

### シートの見方

#### 基本目標1 おせんどさんの地域づくり [地域の絆で安心して暮らせる地域づくり]

##### ①地域の絆づくり

- P. 2 地区社協交流事業（地域交流事業）
- P. 3 地区社協交流事業（福祉懇談会）
- P. 3 小地域サロン支援事業（実施件数）
- P. 4 在宅介護者のつどい（開催回数）
- P. 5 しょうがい者交流事業（開催回数・参加者数）
- P. 6 多文化交流サロン（開催回数）
- P. 6 ふれあい用具貸出事業（貸出件数）
- P. 7 ふれあい備品購入助成事業（備品購入助成件数）
- P. 7 福祉出前講座（講座開催【地域福祉活動】）

##### ②健やかな成長と自立を育む地域づくり

- P. 8 子育て支援事業【おもちゃ図書館】（開催回数・参加者数）
- P. 9 冒険遊び場支援事業（開催地区数・開催回数）
- P. 9 福祉用具・車いす車両貸出事業（貸出件数）
- P. 10 たすけあい資金貸付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 10 生活福祉資金貸付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 11 緊急食糧給付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 11 中山間地域支援事業【ワークキャンプ】（活動地区数・活動日数）
- P. 12 日常生活支えあい促進事業（取組み地区件数）

##### ③見守りで支えあう地域づくり

- P. 14 福祉委員支援事業（設置自治会数・率）
- P. 14 地域除雪支援事業（支援自治会数・率）
- P. 15 ふれあい電話（利用者数・実施（相談）件数）
- P. 16 地域見守り活動推進事業（取組み活動支援自治会数・率、啓発活動・研修会等の開催）
- P. 17 歳末たすけあい運動（実施件数）
- P. 18 総合相談・よろず相談事業（相談件数）
- P. 19 権利擁護センター事業（後見牒・トセツタ-事業）（相談援助件数・権利擁護利用者数、支援回数）

#### 基本目標2 だしかいなの人づくり [お互いさまの関係づくり]

##### ①参加と交流を育む環境づくり

- P. 21 福祉教育推進事業（実施件数）

- P. 22 福祉出前講座（講座開催【技能習得】）
- P. 22 ボランティア養成講座（開催数・受講者数）
- P. 23 広報啓発事業（発行回数）
- P. 24 社会福祉大会（参加者数）

### ②ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）

- P. 25 福祉団体活動助成事業（支援事業数）
- P. 25 災害支援ネットワーク事業（活動実施回数）
- P. 26 ボランティア団体支援（登録支援団体数）
- P. 26 ボランティア連絡協議会支援（事業開催回数）

### ③やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり

- P. 28 地区社協研修事業（研修会等開催回数）
- P. 28 福祉委員推進事業（研修会等開催回数）
- P. 29 小地域サロン支援事業（開催回数）
- P. 30 しょうがい（児）者交流事業（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 30 子育て支援事業【おもちゃ図書館】（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 31 中山間地域支援事業【ワークキャンプ】（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 32 福祉教育推進事業（受講者数）
- P. 32 ボランティアコーディネート業務（件数）

## 基本目標3 ねんごろな根太づくり [支えあって、安心して暮らせるしくみづくり]

### ①気楽に相談できる関係・環境・意識づくり

- P. 35 福祉・生活相談窓口の運営（設置数【福祉生活相談・よろず相談】）
- P. 35 生活相談員の設置（設置数）

### ②気になる人を支えられる関係づくり

- P. 36 地域見守り活動推進事業（個別支援計画策定件数）
- P. 36 地域・介護連携会議（開催回数）

### ③協働と参画による地域づくり

- P. 37 地区別地域福祉推進事業【地域ケア会議】（地区活動計画策定数・率）
- P. 37 災害ボランティアセンターの機能強化（ボランティア数・訓練回数）
- P. 38 地域福祉コーディネーターの配置（設置数・研修会数）

## <長浜市地域福祉活動計画事業報告シートの見方>

長浜市地域福祉活動計画の基本目標、活動の柱ごとに事業分類しています。

### 1-① 地域の絆づくり

#### 在宅介護者のつどい（開催回数）

##### 1. 事業実施概要

- ・開 催 毎月1回
- ・対 象 者 在宅介護者
- ・実 施 回 数 7回
- ・延べ参加者数 116名



事業名と事業視点

事業評価シートの「目標達成状況」概要、事業詳細を書いています。  
また、必要に応じて事業写真を貼付しています。

##### 2. 事業成果および課題

- 【成果】
- ・参加者同士の交流により、介護ストレスの緩和が図られている。
  - ・定期参加する方同士のつながりができる。
  - ・様々な介護状況にある対象者に合わせて企画するため、多くの介護者が参加できる。
- 【課題】
- ・介護者のリフレッシュ機会を増やすため、毎月1回開催できるようにする。
  - ・新たな介護者や男性介護者の参加が少ないため、介護事業所等との連携・協働による介護者への呼びかけが必要である。

事業評価シートの「主な事業成果および課題」の詳細内容として、活動事業の「評価および課題」を書いています。  
課題は、次年度事業に改善するように書いています。

##### 3. 参加者・住民の評価

- ・つどいがあるから救われている。他の人の介護の話を聞いて参考になり、自分もがんばろうという力をもらっている。
- ・介護のことを近所の人には話せないが、つどいへ来ると、同じ介護者ばかりで話しやすい。
- ・参加を戸惑っていたが、勇気を出して参加してよかった。
- ・車を運転できないため、参加を諦めていたが、送迎してもらえて、参加できるのでよい。
- ・旅行には行けないと思っていたが、介護者のつどいの日帰り旅行は、デイサービスの送迎時間を考えて計画されているため、参加できてリフレッシュになるので、大変楽しみにしている。

事業評価シートの「主な参加者・住民の評価・声」の詳細内容として、活動事業に対する「参加者・住民の評価・声」を書いています。  
特に強調したい評価・声には、アンダーラインを付けています。

基本目標 1 **おせんどさんの地域づくり**  
〔地域の絆で安心して暮らせる地域づくり〕

## 1-① 地域の絆づくり

### 地区社協交流事業（地域交流事業）

#### 1. 事業実施概要

各地区で実施される、様々な地域交流活動や事業の支援をしています。

##### ●主な地区社協事業

地域交流事業（福祉のつどい、は～とらんど、チャリティーバザー等）

世代間交流事業（魚つかみ大会、伝統芸術鑑賞、グランドゴルフ大会、自然体験等）

高齢者支援事業（友愛訪問、ひとり暮らし高齢者ふれあい会、ふれあいサロン等）

児童支援事業（子ども体験教室、ちびっこ広場、図書（絵本）の配布、子育てサロン等）

しょうがい支援事業（しょうがい児交流事業等）

男性支援事業（男の料理教室、日曜大工クラブ支援等）

介護者支援事業（介護者サロン、介護者の手・ちょいと一服おしゃべりクッキング等）

広報啓発事業（広報紙発行等）

総事業数：131事業

参加者数：15289人



#### 2. 事業評価および課題

##### 【成果】

- ・各地区で交流活動が開催され、15,289人の交流が図られた。
- ・交流活動・交流事業131事業のうち、106事業において、地域や各団体・関係機関の協働・連携により実施された。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・交流事業で参加者と顔見知りになり、地域で見かけた時に声掛けができ、つながりができました。（地区社協（福祉の会）役員）
- ・同じ地域のひとり暮らし高齢者の方とお話することができて、生きがいになります。（ひとり暮らし高齢者ふれあい会参加者）
- ・地区内の様々な団体が協力し合うことで、効率よく、また効果的に交流の機会をつくることのできて良かったです。（地域づくり協議会役員）
- ・地区社協の事業に参加することで、地域の様々な状況を知ることができました。（民生児童委員）

## 地区社協交流事業（福祉懇談会）

## 1. 事業実施概要

- ・実施地区数 市内15地区（地区社会福祉協議会（福祉の会）単位）
- ・目的 地区別福祉活動計画と連動し、市内15地区の地域課題や今後の地域展望・方向性等を話しあうため、福祉懇談会を開催し、課題解決に向けた新たな取り組みにつなげる。
- ・内容 福祉懇談会の開催
- ・開催回数 33回

## 2. 事業評価および課題

## 【成果】

- ・地区ごとの福祉懇談会（地域ケア会議）が33回開催され、地域の現状や課題などについて話し合いが進められている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・地区の福祉の現状について話し合うことで、私たちの地区で何が求められているかなどの意見を共有することができました。（福祉懇談会参加者）

## 小地域サロン支援事業（実施件数）

## 1. 事業実施概要

開催数：サロン総数	165件
（内訳）新規サロン開催自治会数	12件
2年目サロン開催自治会数	8件
3年目サロン開催自治会数	6件
4年目以降サロン開催自治会数	139件

## サロン参加者：

25年度	26,758人
26年度	31,785人

開催場所：自治会館等

開催時間：各サロンにて決定(午前・午後・1日)

支援内容：助成金・貸出備品・ボランティアの派遣  
サロンの情報紙の発行・情報交換会等

## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・参加者同士の交流により介護ストレスの緩和が図れている。
- ・定期的につどい開催されることで、介護者の孤立防止につながっている。
- ・つどいの内容等に参加者の意見を取り入れることで参加者増加が図れている。
- ・つどいが交流のきっかけとなり、つどい外での交介護者のつながりができている。

## 1-① 地域の絆づくり

### 【課題】

- ・新規参加者や男性介護者の参加が少ないため、介護事業所等との連携・協働による介護者への呼びかけが必要である。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・何日も前から、サロンを楽しみにしています。(サロン参加者)
- ・サロンに参加して、みんなとおしゃべりすることで、心も体も元気になります。(サロン参加者)
- ・サロンスタッフ交流会で学んだコミュニケーション麻雀が男性に非常に好評で、男性のサロン参加者が増えました。(サロン運営者)
- ・出前講座を利用して、自治会全体でサロンについて考える機会を持ったことで、サロンに対する自治会の協力や参加者も増え、参加者も運営スタッフも一緒になってサロンを楽しんでいます(サロン運営者)
- ・戸数が少ない自治会のため、サロンの運営に関わる人員が限られている。(サロン立ち上げが難しい自治会)

## 在宅介護者のつどい（開催回数）

### 1. 事業実施概要

- ・開 催 毎月1回
- ・対 象 者 在宅介護者
- ・実 施 回 数 11回
- ・延べ参加者数 166名



### 2. 事業成果および課題

#### 【成果】

- ・参加者同士の交流により介護ストレスの緩和が図れている。
- ・定期的につどい開催されることで、介護者の孤立防止につながっている。
- ・つどいの内容等に参加者の意見を取り入れることで参加者増加が図れている。
- ・つどいが交流のきっかけとなり、つどい外での交介護者のつながりができている。

#### 【課題】

- ・新規参加者や男性介護者の参加が少ないため、介護事業所等との連携・協働による介護者への呼びかけが必要である。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・つどいがあるから救われている。他の人の介護の話を聞くと参考になり、自分もがんばろうという力をもらっている。(参加者)
- ・介護をし始めて、外出する機会が減ってしまっていたので、つどいへ参加することがストレス発散になっています。(参加者)
- ・早めに案内チラシを送ってもらえるので、ケアマネージャーと介護の調整の相談がしやすい。(参加者)



- ・初めて参加したが、体験活動などとおして気楽におしゃべり出来るので、介護のことなどいろいろ相談することができました。(参加者)
- ・つどいの内容に、参加者の声を取り入れてもらえるので、参加に対して意欲的になります。(参加者)
- ・ここで知り合った人と、つどい以外でもおしゃべりの場をつくっています。(参加者)
- ・同じ立場の人同士でおしゃべりされるので、ストレス発散などを目的に参加を勧めています。(ケアマネージャー)

### しょうがい者交流事業 (開催回数・参加者数)

#### 1. 事業実施概要

- 療育レクリエーション(1回 110人)
- しょうがい児者保護者交流会
  - ・ほのぼのかけはし(5回 86人)
  - ・サマーハウスの開催(5回 187人)
- しょうがい者余暇支援事業料理サロンの開催(11回 122人)
- 元気クラブ(18回 590人)



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・行事をとおして、参加者同士、地域とのつながりを深め、余暇支援活動の充実を図ることができている。
- ・しょうがい児者およびその家族の居場所(余暇活動)づくりを通して、日ごろの悩み等の相談や生活意欲の向上を図ることができている。
- ・学習会の内容が、今必要な情報から将来を考えるきっかけづくりができ、子育てを経験された方を通じて情報交換の場となった。

##### 【課題】

- ・今後さらに、日頃の悩み等を相談できる関係づくりを進める取組みが必要である。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・楽しみにしているのでこれからも続けて欲しい。(療育レクリエーション参加者)
- ・同じような悩みを分かちあえるので、このような場は大変ありがたい。(ほのぼのかけはし参加の保護者)
- ・定期的に不安や子どものことを話せる場所があるとありがたい(サマーハウス参加者)
- ・ここで出会った方とつながることができ、子育ての悩みなど分かち合うことができよかった。(サマーハウス・ほのぼのかけはし参加の保護者)
- ・講師として参加し、保護者の方とお話することで、こういった勉強会、交流の場を大事にされていると感じた。(ほのぼのかけはしアドバイザー)

## 1-① 地域の絆づくり

### 多文化交流サロン（開催回数）

#### 1. 事業実施概要

- 開 催：毎月1回（都合の合う日曜日）  
対 象 者：市内在住の他国出身の方  
実 施 回 数：12回  
延べ参加者数：203名  
実 施 内 容：調理実習等  
（参加者と内容を決めて実施）



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・参加者が主体的に運営に参画できる居場所が、相談や絆を深める場として機能している。
- ・当事者同士の呼び掛けにより、サロン参加者が増加している。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・サロンに参加する事を楽しみにしています。（参加者）
- ・他の文化に触れることができうれしい。（参加者）
- ・サロンの日が待ち遠しいです。（参加者）
- ・定期的に仲間と話せる楽しい場所なのでうれしい。（参加者）
- ・ここに来ると、人とつながることができて安心です。（参加者）

### ふれあい用具貸出事業（貸出件数）

#### 1. 事業実施概要

自治会等の交流活動など地域福祉活動に使用されるレクリエーション道具を貸出しています。

- 調理器具 431件
- イベント・レクリエーション用具 981件
- 教材（プロジェクター等） 85件



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・用具の貸出しをとおして地域交流の増進を図るイベントが活性化している。

##### 【課題】

- ・用具の老朽化による故障時の対応や更新財源の確保等を検討し、安定した貸出事業の継続が求められている。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・子どもが喜ぶ用具の貸出しがあるおかげで、参加者に好評でした。（自治会長）
- ・いろいろな用具を借りられるため、イベントがマンネリ化しないで助かっています。

## ふれあい備品購入助成事業（備品購入助成件数）

## 1. 事業実施概要

- 助成額・・・50,000円以内（購入費総額の2/3以内）
- 主な助成備品・・・掲示板、椅子、コピー機、エアコン、テレビなど
- 財源・・・共同募金（地域配分金）
- 助成件数・・・22自治会



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・地域のニーズに応じた備品整備により、交流活動が促進されている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・高齢者サロン等に使用するイスを購入することができ、サロン参加者も増えました。（自治会長）
- ・購入備品で町内行事や会議の充実化・円滑化が図れました。（自治会長）

## 福祉出前講座（講座開催【地域福祉活動】）

## 1. 事業実施概要

講座名	件数
HUG～避難所運営ゲーム～	6
防災ゲーム「クロスロード」	1
災害にも強いまちづくり研修会	20
地域福祉サポーター養成	4
地域福祉権利擁護事業とは	4
回想法講座	7
高齢者疑似体験	6
アイマスク体験	2
車いす体験	1
ボランティア入門講座	12
地域でサロンをしよう！	3
リクエスト講座	4



### 2. 事業成果および課題

#### 【成果】

- ・自治会など、日常の身近なところで地域福祉活動に対する関心を高める活動が広がっている。
- ・災害時を想定した HUG やいざメシ作りなど、地域の関心が高い講座の企画、整備が進められている。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・身近な場所で、近所の方とともに福祉について学習する機会があり、意識が変わった。
- ・今まで災害・防災について福祉の視点を入れて考えたことがなかったが、災害弱者について考えるきっかけとなった。(災害にも強いまちづくり講座参加者)

### 子育て支援事業【おもちゃ図書館】(開催回数・参加者数)

#### 1. 事業実施概要

- ・実施回数：80回
- (虎姫会場) 毎月第2・3水曜日  
9時30分～11時30分
- (木之本会場) 毎週火曜日  
10時～11時30分
- ・対象者：未就学児とその保護者
- ・延べ参加者数：818人



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・保護者同士の交流により、育児に対するストレスの軽減、情報交換や仲間づくりを図ることができている。
- ・参加者の増加で保護者同士の交流の輪が広がっている。
- ・地区社協をはじめとする福祉団体の協力のもと、地域ぐるみの活動ができている。

##### 【課題】

- ・木之本会場の参加者が少ないため、参加促進イベントやチラシ配布などにより参加者増の取り組みが必要である。

#### 3. 参加者・住民の評価・声(参加者の声)

- ・子育てと家事の毎日で、人との関わりが少ないため、ここへ来て話すことが楽しみです。
- ・季節ごとのイベントがあるので、子どもも楽しみにしています。
- ・友達に誘われて来て、その中でも友達ができ交流の輪が広がった。

## 冒険遊び場支援事業（開催地区数・開催回数）

## 1. 事業実施概要

- 開催地区 2地区
  - ながはま冒険遊び場 毎月第3土曜日
  - 賤ヶ岳冒険遊び場 毎月第2土曜日
- 開催回数 17回



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・子どもがのびのびと遊べる場所となり、子育て中の親の出会いの場になった。
- ・1日冒険遊び場体験やフォーラムの開催をとおして活動への理解を深めることができた。

## 【課題】

- ・子どもが自分で活動に参加できるように、学区や自治会といった小地域での開催にむけた活動啓発と立ち上げ支援が必要である。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・毎月子どもが楽しみにしており、のびのびと遊ぶ姿が見られてよかった。（参加者の保護者）
- ・マンションに引っ越してきて、どこか遊べる場所がないか探していた時にインターネットで見つけて参加しました。不慣れな土地で仲間もできよかった（参加者の保護者）
- ・子どもの成長とともに、冒険遊び場へ参加しにくくなり、活動を継続することが難しくなった。（冒険遊び場活動者）
- ・保護者の送迎なしで子どもだけで参加できるように、学区内や自治会のなかに冒険遊び場がほしい（参加者の保護者）
- ・保護者だけでは活動に限界があるので、地域のボランティアさんの協力があると活動がしやすい（冒険遊び場主催者）

## 福祉用具・車いす車両貸出事業（貸出件数）

## 1. 事業実施概要

高齢者やしょうがい者の外出を促進するための車いす車両や在宅での生活を向上させるための車いすの貸出しを実施しています。

- 福祉用具 221件
- 車いす車両 114件



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・福祉用具の利用による生活の質の向上と、車いす利用者の外出や気分転換が図られている。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・短い期間でもすぐに車いすが借りられて助かりました。(高齢者家族)
- ・車いす車両のおかげで家族と外出できて、良い思い出ができました。  
(車いすを使用している高齢者)

### たすけあい資金貸付事業(相談件数・貸出件数・給付件数)

#### 1. 事業実施概要

- ・貸付件数 69件

#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・生活保護や債務整理、税金や公共料金の滞納整理など関係機関の他制度につなぐまでの一時的な生活の安定が図れている。

##### 【課題】

- ・生活困窮者自立支援法の施行による行政機関等とのさらなる連携強化のあり方を検討する必要がある。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・一時的な支出により生活費が足りず公共料金の支払いができないという緊急時に貸付の利用ができてたすかりました。(貸付利用者)

### 生活福祉資金貸付事業(相談件数・貸出件数・給付件数)

#### 1. 事業実施概要

- ・貸付件数 総合支援資金 20件  
福祉資金・教育支援資金 52件  
合計 72件

#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・貸付け相談を受けている中で、多重債務などの他の生活課題もある世帯については、消費生活相談窓口等の関係機関と連携して当該世帯の課題解決が図れるような対応ができています。

##### 【課題】

- ・生活困窮者自立支援法の施行による行政機関等とのさらなる連携強化のあり方を検討する必要がある。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・子どもの大学の入学金や授業料などがかなり高額で賄えないなか、教育資金の貸付けが利用できて助かっています。(貸付利用者)

緊急食糧給付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）

1. 事業実施概要

- ・給付件数 41件



2. 事業成果および課題

【成果】

- ・緊急一時的な生活困窮世帯に食料品を給付することで、生活の維持が図られている。

【課題】

- ・生活困窮者自立支援法の施行によるさらなる行政機関等との連携強化のあり方を検討する必要がある。

3. 参加者・住民の評価・声

- ・生活困窮世帯への緊急一時的な食料品給付があることで、公的制度の利用までのつなぎができました。（民生委員児童委員）

中山間地域支援事業【ワークキャンプ】（活動地区数・活動日数）

1. 事業実施概要

実施場所：長浜市余呉町 摺墨自治会、中河内自治会、菅並自治会 3地区

高齢化率：摺墨（52.4%）中河内（76.3%）菅並（75.0%）

●第1回ワークキャンプ（夏季）

実施期間：9月8日（月）～11日（木） 3泊4日（作業日数4日間）

実施内容：水路の土砂上げ、地元住民と学生の交流会

参加者：ボランティア18名 交流会（菅並）30名 延128名

●第2回ワークキャンプ（冬季）

実施期間：2月8日（日）～11日（水）3泊4日（作業日数3日間）8日は作業なし

実施内容：高齢者宅の除雪、神社・お寺の除雪、自治会施設の除雪

参加者：ボランティア34名 交流会1名 延100名



除雪前



除雪後

2. 事業成果および課題

【成果】

- ・中山間地域における地域課題解決を目的とした取り組みによる地域の活性化が図れている。
- ・地域住民だけでは解決が困難な課題に対し、学生ボランティアとの協働のもと、解決に向けた活動が展開されている。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・若者と一緒に作業が出来て、地域が明るくなった。(地域住民)
- ・互いに協力し合って暮らすことの大切さを学びました。(学生ボランティア)
- ・毎年学生さんが来てくれるのを楽しみにしています(地域住民)
- ・雪で家に光が入らなく困っていましたが、除雪していただき助かりました(地域住民)

### 日常生活支えあい促進事業(取組み地区件数)

#### 1. 事業実施概要

##### ●活動団体支援

- 神田地区 かんだサポート会
- 余呉地区 元気かい

##### ●支援内容

##### ■活動従事者研修会の開催

かんだサポート会 活動者研修会

平成27年2月27日(金) 19時00分～

参加者 37名

①講演「住民主体の生活支援活動の必要性について」

講師 山下憲昭さん(大谷大学教授)

②事例紹介「大野木長寿町づくり会社の取組み」

発表者 西秋清志さん(大野木長寿町づくり会社社長)

■活動費の助成：元気かい 50,000円

■活動用具の貸与：かんだサポート会 プロアバキューム1台、物置1棟

■送迎車両貸出：かんだサポート会 買物ツアー運行に車両貸出

■活動周知支援：かんだサポート会、元気かい 活動周知チラシの作成

■活動保険加入支援：福祉サービス総合補償加入支援



#### ※上記支援を基にした各団体の活動実績

##### ■かんだサポート会

- |         |     |          |    |
|---------|-----|----------|----|
| ●清掃作業   | 26回 | ●お買い物ツアー | 7回 |
| ●庭木の手入れ | 6回  | ●修理修繕    | 1回 |
- ##### ■元気かい
- |               |    |           |    |
|---------------|----|-----------|----|
| ●畑作業の支援       | 7回 | ●家屋・物置の整理 | 1回 |
| ●除草作業         | 6回 | ●除雪活動     | 3回 |
| ●ひとり暮らし高齢者昼食会 | 3回 |           |    |



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・主体的に生活支援ボランティア活動に取り組む団体を支援することで、多様化する生活課題に対応できる地域の基盤づくりを進めることができている。
- ・研修会の開催や活動周知支援をとおして、地域住民に対して生活支援ボランティア活動の必要性をひろめ、また、生活支援が必要な方に対しての案内を実施できている。
- ・支援のメニュー化(活動者への研修会の実施、活動用具の貸与、活動保険の加入、活動周知チラシの作成支援、外出支援車両の貸し出しや活動運営費の交付)を進めることで活動団体の実態に応じた支援ができている。



【課題】

- ・市内全域での取り組みに向けたボランティア組織の立ち上げが求められており、地域の福祉団体等との協働・連携がさらに必要である。

3. 主な参加者・住民の評価・声

- ・ ボランティアさんが畑を耕したりしてくれるので気軽に頼めてありがたいです。

(ひとり暮らし高齢者)

- ・ 遠く離れて暮らす娘や息子に頼みごとがしにくいので、近くの方が助けて下さるのは本当に助かります。(ひとり暮らし高齢者)

- ・ 安心して地域で暮らすお手伝いが出来てうれしいです。(ボランティア活動者)

- ・ いつまでも安心して、住み慣れた自宅や地域で暮らせる、そんな支援をしていきたいです。

(ボランティア活動団体代表者)

### 福祉委員支援事業（設置自治会数・率）

#### 1. 事業実施概要

- 福祉委員設置自治会数  
202自治会／426自治会  
(47.4%)
- 福祉委員活動に関わる相談、支援数  
5回（3自治会、1団体、1地区）
- 「福祉委員活動事例集」の作成



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・福祉委員がサロン活動や見守りの活動を行うことでお互いに支えあう地域づくりの推進に取り組んでいる。
- ・自治会や地区における身近な福祉の担い手として新たに設置、また、既存活動の充実などを目的とした相談支援に取り組むことにより、福祉委員の設置の推進に取り組んでいる。
- ・「福祉委員活動事例集」により、市内の活動紹介やアドバイスなどをわかりやすくまとめることができている。

##### 【課題】

- ・福祉委員の設置自治会数が半数以下に留まっている現状の中で、市域、地区域での意識向上の研修会などを通じた新たな設置のための支援が必要である。
- ・福祉委員への研修会を通して、福祉課題への取り組みや活動の質の向上を目指した支援が必要である。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・福祉委員を設置し、福祉の担い手が明確になることで、自治会の福祉活動が活性化しました。（自治会長）
- ・福祉委員を設置したいがかなり手がない。（自治会長）
- ・近いところの取組み（市内の活動事例）を教えてもらえると、自分たちもこんな地域にしたいなあと思います。（福祉委員）
- ・福祉委員さんが何かと母の様子を気にして（見守り）くださるので、心強いです。（ひとり暮らし高齢者と離れて暮らす娘）

### 地域除雪支援事業（支援自治会数・率）

#### 1. 事業実施概要

- ・事業内容  
自治会における要援護者世帯への除雪活動を支援するため、傷害補償（保険）への加入と小型除雪機貸出を行っています。
- ・取り組み自治会：61自治会



地区名	加入自治会数	地区名	加入自治会数
長 浜	6	浅 井	7
六 荘	1	び わ	2
南郷里	4	虎 姫	0
神 照	1	湖 北	4
北郷里	2	高 月	10
西黒田	1	木之本	4
神 田	0	余 呉	11
		西浅井	8

- ・要援護者登録世帯数：1, 028世帯（活動支援世帯数：延べ547世帯）
- ・除雪支援活動登録者数：1, 087名（活動者数：延べ352名）

## 2. 事業成果および課題

### 【成果】

- ・自治会内の高齢者やしょうがい者世帯等が安心して生活できるとともに、地域で支えあう体制をつくれる。
- ・自治会の除雪における支えあい活動の要点となる「保険加入」を補完することで、活動体制を整える一助となっている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・大雪の時は、地域のみなさんにたすけてもらえると聞いて安心しました。  
（ひとり暮らし高齢者）
- ・今までけがや事故の補償がない中、除雪活動をしてきましたが、保険加入をしてもらうことで安心して活動することができるようになりました。（自治会長）

## ふれあい電話（利用者数・実施（相談）件数）

### 1. 事業実施概要

ひとり暮らし高齢者、日中ひとりになる高齢者、しょうがいのある方などに電話による安否確認や悩みの相談を行っています。

- 安否確認、福祉ニーズの把握（悩み、不安、健康状態、福祉サービス等）
- 日 時 毎週水・木曜日 10:00～11:50 93日間
- 通話者 ボランティア団体・民生委員児童委員協議会 計16団体
- 利用者数 111名
- 実施件数 2,357件
- ボランティア研修会（コミュニケーション研修）  
開催日：平成26年10月7日（火）  
講 師：中邨真由美さん（あすばる甲賀）  
参加者：19名



## 1-③ 見守りで支えあう地域づくり

### ●ボランティア交流会（スタンプを使った年賀状づくり）

開催日：平成26年12月16日（火）

参加者：17名

### ●新規登録者 6人 脱退者 14人（死亡、施設入所、転居による）

## 2. 事業成果および課題

### 【成果】

- ・電話相談をとおして、安否確認や悩みごとの相談が気軽にできる環境がつけられている。
- ・電話でのコミュニケーションを通じて、ひとり暮らし高齢者等の社会的孤立感を軽減できている。
- ・ふれあい電話ボランティアに対する研修会を実施し、コミュニケーションスキルの習得と交流によるコミュニケーションのスキルアップが実施できている。
- ・ケアマネージャーや介護あんしん窓口の周知により、新規利用へつながっている。

### 【課題】

- ・新規利用の呼びかけを行うも、利用者数が減少傾向にあり、民生委員や福祉事業者等などの連携により、新規利用につなげる必要がある。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・いつも電話がかかってくることを心待ちにしています。（ふれあい電話利用者）
- ・コミュニケーションの勉強もできて活動にいかせることができました。  
（ふれあい電話ボランティア）
- ・地域でひとり暮らし高齢者がおられるので、こういった気軽な電話相談があるとありがたいです。（民生委員）
- ・相談ごとを、民生委員さんや関係機関の方につなげてくださり、親身になってくださるので感謝しています。（ふれあい電話利用者）
- ・ふれあい電話を利用された利用者さんが、楽しそうにふれあい電話の話をしてくださり、利用していただいてよかったです。（ケアマネージャー）

## 地域見守り活動推進事業（取組み活動支援自治会数・率、啓発活動・研修会等の開催）

### 1. 事業実施概要

#### ●取組み活動支援自治会数・率

11自治会

2. 5%（11自治会／426自治会）

#### ●啓発活動・研修会等の開催

実施回数：33回

参加者数：1,877人

（内訳：自治会9、市全体1、団体13、地区10）

実施地区（率）：11／15地区（73%）



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・取組を進めることで、希薄化しつつある地域のつながりの再構築を図られている。
- ・自治会でのきめ細やかな見守り活動により、要援護者（ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、しょうがいのある方など）が、災害時だけでなく普段から安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・自治会ぐるみの見守り体制は安心と安全のために必須の取組になるため、社協の支援は必要です。（見守り活動を実施している自治会長）
- ・民生委員ひとりでは見守り活動が十分に行えないため、自治会を挙げて見守り活動に取り組んでもらえることは、とてもありがたいです。（民生委員児童委員）
- ・研修会に参加して、防災・福祉マップづくり等の取組が必要であると感じ、次年度に取り組むを計画したいと考えています。（啓発研修会に参加した自治会長）

## 歳末たすけあい運動（実施件数）

## 1. 事業実施概要

## ①平成26年度実績

- 一人暮らし高齢者等そうじ支援事業 235件
- 歳末おせち料理配食事業 1,147件
- 特別支援学級等学用品支援事業 260名
- 要保護世帯図書カード支援事業 90名
- 福祉施設・団体等歳末行事支援事業 36件
- 小児病棟クリスマス訪問事業 56名
- 緊急食糧給付事業



小児病棟クリスマス訪問

## ②募金配分実績

年度	募金額	配分額
平成23年度	7,116,450円	6,961,636円
平成24年度	6,131,693円	6,841,582円
平成25年度	6,044,569円	5,589,825円
平成26年度	5,264,500円	5,748,164円

## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・民生委員児童委員をはじめとした福祉関係団体との協働・連携の取組により、支援を必要とする人たちの孤立感の緩和や地域との交流活動が進められている。

## 1-③ 見守りで支えあう地域づくり

### 【課題】

・募金額の減少を食い止めるため、歳末たすけあい運動の趣旨や取り組みを効果的に啓発・周知することでより多くの市民の理解を深める必要がある。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・みなさんに助けられて、あたたかい気持ちで新年を迎えることが出来ました。  
(そうじ支援利用のひとり暮らし高齢者)
- ・ひとりで過ごす正月ですが、おせち料理をいただき正月を楽しめました。  
(おせち料理配食を受けたひとり暮らし高齢者)
- ・入院生活を送る子どもの楽しそうな笑顔をみる事が出来てうれしかったです。  
(小児病棟クリスマス訪問入院患者保護者)

## 総合相談・よろず相談事業（相談件数）

### 1. 事業実施概要

●よろず相談	相談日数	一般相談	110日
		常設相談	192日
		合計	302日
	相談件数	一般相談	56件
		常設相談	190件
		合計	246件
●法律相談	相談日数	24日	
	相談件数	132件	



### 2. 事業成果および課題

#### 【成果】

- ・人権、財産、金銭貸借、事故、家族問題などの相談から、弁護士による専門的な法律相談まで幅広い相談を受けられており、市民の不安や困りごとの解消に役立っている。
- ・法律相談の開催日数が増えたことで、より多くの法律問題に関わる相談に対応されている。

#### 【課題】

- ・よろず相談件数が減少傾向にあるため、広報などによる市民への周知・啓発が求められる。

### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・父親の相続について悩んでいたが、丁寧に教えてもらい大変よくわかりました。(相談者)
- ・弁護士に相談するのは敷居が高く思っていたが、実際に無料で相談できて、困りごとにも的確にアドバイスがいただけて非常にありがたかった。(相談者)

## 権利擁護センター事業（後見サポ-トセンター事業）（相談援助件数・権利擁護利用者数、支援回数）

## 1. 事業実施概要

## ●地域福祉権利擁護事業

利用者数	認知症高齢者	96件
	知的しょうがい者	75件
	精神しょうがい者	40件
	合計	211件
相談援助件数		7,974回



## ●成年後見サポートセンター事業

相談援助件数	167件
申立援助件数	21件
定期出張相談会	5回 11名
出前啓発講座	44団体 794名
啓発講座	4回 151名
成年後見受任者懇談会	1回 22名

啓発資料作成	成年後見制度パンフレット	6000部
	サポートセンター概要パンフレット	3000部
	申立手続きパンフレット	2000部

## ●法人後見事業

受任件数	後見	1件
	補助	1件

## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・判断能力の不十分な方の権利を守り、地域で安心して生活が送れるよう、福祉事業所・市民向けの講座を4回開催し、啓発活動が進められている。
- ・関係機関や福祉団体、福祉事業者、市民に対し、44団体への出前講座、5回の相談会の開催を行い、成年後見制度に対する正しい理解が得られるようになってきている。

## 【課題】

- ・関係機関や福祉団体、福祉事業者との連携をさらに深め、必要な方に必要な制度の利用・支援が行える環境作りが求められている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・福祉事業者向け研修を受講し、年後見制度の概要について理解することができてよかった。利用者の方が必要となった場合に適切に制度が利用できるよう今後もセンターに相談していきたい。（介護専門職）
- ・家族の金融機関の手続きができない時に、成年後見制度の利用が必要と言われ、どこに相談してよいのかわからなかったが、相談できるところがあってよかった。（地域住民）

基本目標2 **だしかいなの人づくり**

〔お互いさまの関係づくり〕



### 福祉教育推進事業（実施件数）

#### 1. 事業実施概要

- 福祉教育助成金 30,000円(長浜養護学校)
- コーディネート数(小中学校、高等学校) 32件
- コーディネート数(学校以外) 22件
- 社協職員派遣数(ボランティアについて・体験学習等) 190時限(回)
- しょうがい当事者派遣時限数(身体・視覚・聴覚しょうがい者) 30時限(回)
- ボランティアグループ派遣時限数(要約筆記・手話・大道芸・手品等) 83時限(回)



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・教育機関に対する福祉教育プログラムの案内の徹底により、市内27小学校中、26校が福祉教育に取り組んでいる。
- ・体験をとおした学びや、考えるプログラム構成をとることで、福祉に対する理解や関心を深めることができている。
- ・自治会や企業への福祉教育の実施により、生涯学習や人権学習としての側面からも福祉に対する理解や関心を深めることができている。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・学年に合わせた福祉教育プログラムが組まれているので、授業に取り組みやすく、分かりやすいです。(小学校教員)
- ・福祉教育後に、自分から高齢者やしょうがい者への声掛けができる児童が増えました。(小学校教員)
- ・当事者の体験談をとおして、しょうがいがある方がどのようなことに困っているのかが分かりました。(企業に勤めるサラリーマン)
- ・高齢者疑似体験をして、高齢者の大変さがわかりました。これからは自分にできる事はお手伝いしたいと思います。(中学生)

## 福祉出前講座（講座開催【技能習得】）

## 1. 事業実施概要

講座名	回数
ここが知りたい「介護保険制度」	2
介護を学ぼう！	1
お口の健康、元気でいきいき生活！	4
レクリエーションで日常の楽しみを	1
介護予防講座～健康は足もとから～	4
介護予防講座～脳活のすすめ～	7
リクエスト講座	2
合 計	21



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・技術の習得だけでなく、習得した技術や知識を活かせるよう、日ごろの暮らしの中の福祉の視点や支援について学習できるプログラムが構築できている。
- ・介護や認知症のことなどを「他人ごと」でなく「自分ごと」として考えられる意識づけや、支援などの活動に結びつく講座が開催できている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・介護や病気のことは難しいと思い込んでいましたが、楽しく、わかりやすく教えていただき、少し意識が変わりました。（介護講座受講者）
- ・資格がないとできないことばかりだと思っていたが、普段の生活のなかでもできることがあると気づききっかけになった。（介護講座受講者）
- ・認知症や介護などは、他人ごとではなく将来的には自分のことでもあるので、支援のためだけでなく、自分のためとしても聞くことができました。（介護講座受講者）
- ・認知症者が増えているとテレビでは聞いていましたが、今回の講座を受けて、自分たちにもできる事がわかって良かったです。できる事から実践していきたいと思います。（介護講座受講者）

## ボランティア養成講座（開催数・受講者数）

## 1. 事業実施概要

講座数：7講座

受講生：828名



### 2. 事業成果および課題

#### 【成果】

- ・ボランティア活動に対する理解と関心を高め、ボランティア活動へのきっかけづくりができている
- ・養成講座後のコーディネートにより、ボランティア活動者の確保につながり、ボランティア活動の安定につながっている。
- ・ボランティア活動者のスキルアップを図ることで、活動の充実を図れている。

#### 【課題】

- ・女性の参加に比べ男性の参加が少ないため男性が輝けるボランティア養成講座の企画が必要である。

### 3. 参加者・住民の評価

- ・養成講座に参加し、自分にもボランティアできる事ができたので、活動していきたいと思えます。
- ・養成講座後に、興味のあるボランティアグループを紹介していただけだったので、今はグループに参加し楽しくやりがいを持ってボランティア活動に取り組んでいます。(受講者)

## 広報啓発事業（発行回数）

### 1. 事業実施概要

- 広報誌の発行（5月、7月、10月、2月）
  - 各42,000部発行（市内全戸配布、県内関係機関、法人会員）
  - 広報誌編集会議の開催 4回
  - 広告協賛企業・団体数 6団体
- ボランティア情報誌「えくすてんど」
  - 発行回数：毎月1回
  - 配布方法：自治会回覧(各公民館配布)
  - 発行部数：5,200部（総数）
  - ※5月・7月・10月・2月号は社協ながはまに掲載
- ボランティアセンターだより「ランティーちゃん はーい」
  - 発行回数：年2回（4月・2月号）
  - 発行部数：230部
- サロン情報紙
  - 発行回数：年4回（春・夏・秋・冬号）
  - 発行部数：160部
- ホームページ運営 <http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・イベントや事業に対し「広報誌をみて応募した」という参加者が増えてきており、広報紙を媒体とした情報提供の効果が表れている。
- ・全戸配布の広報誌のページ数を増加し、提供できる情報の幅を広げるとともに文字を大きく変更するなど「見やすい広報誌化」に努めることで、周知効果アップに取り組んでいる。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・広報誌を見て楽しそうなので事業に参加応募しました。
- ・(掲載記事を見て) 私にも何かできる事があれば協力したい。(広報誌を読んだ住民)

## 社会福祉大会 (参加者数)

## 1. 事業実施概要

- ・開催日時：平成26年11月23日(日)9時~12時
- ・参加者数：362名
- ・開催内容：●社会福祉功労者表彰

- 福祉標語・福祉の絵表彰と展示

- 福祉講演会

「ひとりぼっちのないまちに」

講師：幸重忠孝さん

- しょうがい者作業所物品販売
- 被災地復興支援バザー
- 権利擁護・成年後見相談、介護相談
- 赤い羽根共同募金啓発活動
- デイサービス利用者作品展示

※福祉標語・福祉の絵は、大会後市内の大型量販店などで展示されました



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・多様な立場、役割の方の参加と参画が図られることで交流が育まれ、福祉に対する理解と関心を深まり、地域でともに支えあう意識を高める機会をつくることのできている。
- ・「ひとりぼっちのないまちに」と題し、身近ではあるが関わりかけが難しくなっている子どもの貧困をテーマに子どもと家庭、それを取り巻く地域の支えあいについて考える機会がつけられている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・子どもの貧困というテーマは、私達にはどうすることもできないと思い込んでいましたが、地域のみんなでできる支えあいもあることを学び、これからの活動に大いに生かしていきたいと感じました。(参加者：民生委員)

## 2-② ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）

- ・福祉講演会を聞いて勉強になりました、自分たちにもできる事があれば、実践していきたいと思います。（参加者）
- ・子どもたちの「福祉の絵」は、言葉だけでは伝えきれない感情や思いが伝わってきました。

### 福祉団体活動助成事業（支援事業数）

#### 1. 事業実施概要

福祉団体の福祉事業に対して活動助成を行い、福祉団体の育成と活動の促進を行っています。

- ・助成団体 6団体（11事業）
- ・支援内容 団体運営支援、交流・研修会支援、学習支援



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・福祉活動団体と連携して地域福祉を推進するとともに、団体活動の育成と促進を図れる。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・ボランティアさんに参加してもらえることで幅広い活動ができるようになりました。（団体役員）
- ・助成により、事業の安定した継続が来ています。（団体事務局）

### 災害支援ネットワーク事業（活動実施回数）

#### 1. 事業実施概要

地区を単位とし、「災害」をテーマとした地域住民、企業、商店、公共団体や福祉施設による話し合いや活動の場（ネットワーク）を設ける。

- ・災害や復興、災害ボランティアに関する勉強会の開催、被災地支援の活動や災害に対応する取り組みの検討
- ・勉強会の開催 年3回
- ・登録数 17団体 個人 15人



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・勉強会を定期的に行うことでネットワーク活動を通じたつながりが、防滅災活動だけでなく、地域の様々な福祉活動へと活かされている。
- ・地域内の様々な立場の人が地区内の防災について学び、話し合うことにより、地域全体を対象とした防滅災意識の向上が図れている。
- ・次年度への取り組みとして地域づくり協議会との連携し、さらに地域ぐるみの活動になるようつなげた。

【課題】

- ・ネットワークのつながりをより広く深くするため、交流の機会の増加と、新たな参加者を増やす取り組みが必要である。

3. 参加者・住民の評価

- ・みんなで意見を出し合うと違う考え方もあり、見方が変わることもあった。  
（商店経営者）
- ・防災がきっかけで、みなさんとの顔つなぎの場になってよかった。（しょうがい者施設長）
- ・防災や福祉の事を地域で考えていくきっかけになった。

ボランティア団体支援（登録支援団体数）

1. 事業実施概要

- ・支援団体数：237団体



2. 事業成果および課題

【成果】

- ・ボランティア登録を通して、社協やボランティア同士の交流や連携が深まっている。
- ・活動資金に対しては、社協のボランティア団体助成や他の助成の紹介を行うことで活動が安定していく。
- ・ボランティア活動保険や行事用保険の進めることで活動に安心が保障され活動につながる。
- ・情報紙「えくすてんど」に団体情報を掲載することで活用が広がった。

【課題】

- ・ボランティアセンターに登録していない団体も多くあるため、今後も積極的なアプローチを行ない、幅広いボランティアネットワークを構築することが必要である。

3. 参加者・住民の評価・声

- ・私たちの「やりたい」が実現できるよう応援してもらえてとても頼りにしています。  
（ボランティア団体長）
- ・ボランティア保険や助成の情報を発信してもらって助かります。（登録団体）

### ボランティア連絡協議会支援（事業開催回数）

#### 1. 事業実施概要

##### ●ボランティア連絡協議会支援

- ・長浜市長浜ボランティア連絡協議会【会議 5・事業 5】
- ・長浜市浅井ボランティア連絡協議会【会議 15・事業 8】
- ・虎姫ボランティア連絡協議会【会議 2・事業 3】
- ・びわボランティア連絡協議会【会議 3・事業 4】
- ・湖北ボランティア連絡協議会【会議 11・事業 6】
- ・高月ボランティア連絡協議会【会議 5・事業 6】
- ・木之本ボランティア連絡協議会【会議 20・事業 12】
- ・余呉ボランティア連絡協議会【会議 2・事業 2】
- ・西浅井ボランティア連絡協議会【会議 4・事業 3】

##### ●ボランティア連絡協議会代表者会の開催

①日時：8月11日(月) 16時から17時30分

場所：湖北デイサービス

議題：社会福祉大会での協力事業について

②日時：3月 9日(月) 16時から17時30分

場所：湖北デイサービス

議題：研修「県内のボランティア連絡協議会から学ぶ」

##### ●ボランティア連絡協議会協同事業

日時：11月23日(祝) 9時から13時00分

場所：虎姫文化ホール



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・市内のボランティア連絡協議会の情報共有や事業(活動)を通して、日ごろからつながりが持てる関係づくりが推進できた。
- ・各ボランティア連絡協議会が、独自で各ボランティア団体とつながりを持ち、地域の活動を展開している。

##### 【課題】

- ・連絡協議会の共通課題として登録団体の減少や活動者の高齢化などが掲げられおり、解決に向けた協働体制の構築が求められる。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・どのボランティア連絡協議会も課題は同じ、うちだけでない。(V 連会長の声)
- ・ボランティア連絡協議会の交流会に参加して、同じ地域で活動するボランティアの皆さんと仲間になれてよかったです。(ボランティア)
- ・社会福祉大会での復興バザーでは、市内のボランティア連絡協議会を通じて知り合うきっかけをもらいよかったです(バザーでのボランティア活動者)

### 地区社協研修事業（研修会等開催回数）

#### 1. 事業実施概要

##### ●主な地区社協研修事業

講 座：福祉講座、健康講座等

研修会：福祉委員研修会、福祉研修会、進地研修会、  
防災研修会等

講演会：人権・福祉講演会、介護予防講演会等

開催回数：27回



#### 2. 事業成果および課題

【成果】 ・地域住民が福祉に関心をもち、地域の活動者育成や新たな地区活動への展開に期待できる。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

・認知症の人への対応方法を研修し、地域で関わる時にいかしたい。（認知症研修参加者）

### 福祉委員推進事業（研修会等開催回数）

#### 1. 事業実施概要

福祉委員研修会等開催

開催回数：11回（3自治会、2団体、6地区）

参加者数：504名



#### 2. 事業成果および課題

【成果】 ・福祉活動や見守り活動に必要な福祉知識の拡充や、援助技術の向上を目的とした研修会を開催し、リーダー養成に取り組んでいる。

・研修会内の情報交換や意見交換をとおして、同じ役割を持った人が交流することで、日ごろの活動にやりがいを持って取り組める支援ができています。

・市内の福祉委員活動事例集を使用した周知、広報活動を行うことで未設置自治会への啓発や既設置自治会への活動充実につながっている。

・研修会や活動支援の実施により地域住民の福祉委員に対する理解、また、福祉委員の地域福祉活動への意識向上が見られ、自治会などにおける福祉活動の活性化につながっている。

【課題】 ・参加対象や開催エリアを広げるなど、福祉委員未設置地区に対する研修会参加の働きかけが必要である。

・地域福祉のリーダー的役割を担う人づくりを目指した研修プログラムの開発が求められる。



3. 参加者・住民の評価・声

- ・自治会においても様々な福祉活動に取り組んでいただいている方のため、今後もやりがいを持って活動できる研修会は必要だと思います。（自治会長）
- ・他所の活動事例や、意見交換を行う場（研修会）は活動の役に立つのでありがたいです。（福祉委員）

小地域サロン支援事業（開催回数）

1. 事業実施概要

- ・サロ ン 総 数：165自治会
  - ・サロン開催年間数：2, 365回
  - ・年間のサロンスタッフ人数(ボランティア)：平成25年 8, 911人  
平成26年は9, 492人
  - ・サロン開催年間：13回(平均)
  - ・開催回数：1年目 年5回 2年目から年10回以上
- 10回開催の理由：高齢者には介護予防、子どもには育成の場、地域にはつながりの場と多面性を持っている。回数を重ねないと開催される目的を達成できないため、年10回の開催目標にて取り組んでいる。



2. 事業成果および課題

【成果】

- ・男性の参加を増やす事を目的に交流会でコミュニケーションマーシャンの紹介をおこない、サロンの運営を支援することにつながった。
- ・レクリエーション等の講座や交流会、出前講座等を通して、やりがいと楽しみを持って活動できる人材の育成を推進している。
- ・今後もスタッフの声に寄り添いながら支援を行うことで、身近に相談に来てもらった。

【課題】

- ・活動のマナー化や担い手の高齢化により、サロン運営が難しくなっている地域もあるため、気軽で簡単に楽しめるレクリエーションの講座や出前講座のプログラム開発が求められる。
- ・サロンの存続もスタッフにかかり、今後は後継者の育成も大きな課題である。

3. 参加者・住民の評価・声

- ・サロン参加者の喜びや感謝の言葉が、サロン運営の原動力となっています。（サロンボランティア）

## 2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり

### しょうがい（児）者交流事業（ボランティア活動者数【延べ人数】）

#### 1. 事業実施概要

しょうがい（児）者に関する理解と関心を深め、ボランティア活動としての担い手を育成、支援しています。

#### ●主な事業

- ・療育レクリエーション（60名）
- ・しょうがい児者保護者交流会サマーハウス（73名）
- ・しょうがい者余暇支援事業料理サロン（39名）（写真）



#### 2. 事業成果および課題

- 【成果】
- ・活動を通して、ボランティアのしょうがいに関する理解と関心を深めることができた。
  - ・しょうがい者とボランティアの交流を深めることができた。
  - ・療育レクリエーションなどボランティア活動者も一緒に参画することで、しょうがい者に対する理解を深めることができた。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・しょうがいに対する理解と関心が深まり、ますますボランティア活動をやっていてよかったと思えるようになった。感謝されるとうれしい。（ボランティア）
- ・調理活動を通して、学校で学ぶ事も大切だが、地域での様々な人とのふれあいの中で子どもたちが体験して学ぶことも大切だと思った（料理サロンボランティア）。
- ・保護者の方と交流することで、様々な支援を求めておられることを知り、自分にはなにができるだろうと考えるきっかけになった。（サマーハウスボランティア）

### 子育て支援事業【おもちゃ図書館】（ボランティア活動者数【延べ人数】）

#### 1. 事業実施概要

- ・実施回数：80回

（虎 姫会場）毎月第2、3水曜日 9時30分～11時30分

（木之本会場）毎週火曜日 10時～11時30分

- ・延べボランティア数：117名
- ・活動内容：子どもの見守り、レクリエーション補助、調理活動、保護者との交流など



#### 2. 事業成果および課題

#### 【成果】

- ・イベントの開催などにより、ボランティア活動者が増え、継続した活動につなげることができている。
- ・民生児童委員、地区社協、各種団体のボランティア活動により、絵本の読み聞かせや子育て相談等活動の充実が図れている。

3. 参加者・住民の評価・声

- ・子どもたちの笑顔や成長がうれしく、喜んでもらえることが自分の力になっている。  
(ボランティア)
- ・子育てを経験されたお母さんボランティアさんになんでも相談できるので心強い。  
(参加の母親)

中山間地域支援事業【ワークキャンプ】(ボランティア活動者数【延べ人数】)

1. 事業実施概要

実施場所：長浜市余呉町 摺墨自治会、中河内自治会、菅並自治会 3 地区

●第1回ワークキャンプ(夏季)

実施期間：9月8日(月)～11日(木) 3泊4日

実施内容：水路の土砂上げ、地元住民と学生の交流会

参加者：ボランティア18名 交流会(菅並)30名 延128名

●第2回ワークキャンプ(冬季)

実施期間：2月8日(日)～11日(水)3泊4日

実施内容：高齢者宅の除雪、神社・お寺の除雪、自治会施設の除雪

参加者：ボランティア34名 交流会1名 延100名



2. 事業成果および課題

【成果】

- ・中山間地域における地域課題緩和を目的とした取り組みによる若者と地域住民との交流になり、人材の育成と地域の活性化ができる。

【課題】

- ・継続的に中山間地域における地域課題解決を支援する活動者(ボランティア)の育成を推進する必要がある。
- ・中山間地域の抱える課題を身近な地域の課題として、広く市民に伝え協力しあえる仕組みづくりが必要である。

3. 参加者・住民の評価・声

- ・地域の人たちとの話がとても楽しくて、感謝してもらえてとてもうれしかった。
- ・歳の離れた人と話す機会が今までそれほどなくて、戦争の話や地元の話を聞かせてもらって楽しかった。(学生ボランティア)
- ・同じ長浜市でも環境の違いを感じました。今度は近所の方にも声をかけて参加したいと思

## 2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり

います。（一般ボランティア）

- ・今どきの若い子は頼りないと思っていたが一緒に作業するとなかなか根性があるって頼もしかった。また一緒に頑張りたい。（地域住民）

### 福祉教育推進事業（受講者数）

#### 1. 事業実施概要

小中学校、企業、自治会等、地域において地域の担い手を育成する。  
ボランティアに対する理解と関心を深めていく。

- ・ボランティアについて・体験学習等受講者数：5,438人
- ・しょうがい当事者学習受講者数：1,129人
- ・ボランティアグループ学習講者数：2,342人



#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・福祉教育プログラムを通して、福祉に対する関心を深めることで、地域の福祉を担う活動者の育成に取り組んでいる。
- ・親子での福祉体験学習、授業参観等の取り組みなどの依頼が多くなった。
- ・体験を依頼に合わせて充実したことに伴い依頼が多い

##### 【課題】

- ・様々な場面で福祉教育が実施されるよう、学習意欲を刺激するプログラム開発が必要である。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・子どもと一緒に、福祉のことについて考える時間を持つことができました。（親子で福祉教育を受講した保護者）
- ・住んでいる地域の中でしょうがいの体験をすることで、バリアフリーの大切さが理解できとてもよかった。（自治会の参加者）



### ボランティアコーディネート業務（件数）

#### 1. 事業実施概要

ニーズの調整を行い、ボランティア派遣等を行いながら、ボランティアの安全確保のためボランティア保険を推進していく。

- ・ボランティア相談件数：322件  
※内ニーズ調整件数 232件
- ・ボランティア保険取扱数：3,503人



2. 事業成果および課題

【成果】

- ・ボランティア活動団体の一覧を各センター窓口、公民館等に配付し、ボランティアの依頼を受付し、「待たせないよう」にニーズ調整を迅速に行った。
- ・活動団体の登録にも力を入れ、情報紙で募集を行い、またボランティア活動団体の活動中に訪問して登録を促した。
- ・ボランティアをしてほしい人のところへ、ボランティアしたい人をつなげることで、やりがいを持って活動できる環境づくりに取り組んでいる。
- ・情報の発信や保険加入等、ボランティア活動がしやすい基盤整備の推進ができています。

3. 参加者・住民の評価・声

- ・私の（活動したい）という思いに合った活動先を紹介してもらえて、とてもやりがいを感じました。（ボランティア活動者）
- ・様々なボランティアさんを紹介してもらえて、自治会イベントがマンネリ化しなくてありがたいです。（自治会長）

基本目標3 **ねんごろな<sup>ねだ</sup>根太づくり**  
〔支えあって、安心して暮らせるしくみづくり〕

### 3-① 気楽に相談できる関係・環境・意識づくり

#### 福祉・生活相談窓口の運営（設置数【福祉生活相談・よろず相談】）

##### 1. 事業実施概要

- 生活相談：2か所（長浜・木之本）
- よろず相談：8か所（長浜・浅井・虎姫・湖北・高月・木之本・余呉・西浅井）



##### 2. 事業成果および課題

###### 【成果】

- ・住民にとって気軽に相談できる窓口となっている。

###### 【課題】

- ・地域によって利用頻度に差がある。
- ・相談内容がより専門性の高い相談内容となってきていることに対し、専門的な相談にも乗っていける体制整備が必要である。

##### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・無料で気軽に相談に乗っていただけただけでとてもありがたかったです。（よろず相談利用者）

#### 生活相談員の設置（設置数）

##### 1. 事業実施概要

相談員数 7名

##### 2. 事業成果および課題

###### 【成果】

- ・生活相談は、様々な制度の紹介や手続き支援等へつなぐ役割が出来ている。
- ・生活相談員の増加により、幅広い相談内容に対処できている。

###### 【課題】

- ・相談内容が多岐にわたることがあり、様々な研修等に参加して相談員の資質向上を図る必要がある。



##### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・様々な相談窓口が連携することにより、課題解決に向けた相談活動となっている。（関係機関から）

## 地域見守り活動推進事業（個別支援計画策定件数）

## 1. 事業実施概要

- ・長浜市避難支援・見守り支えあい制度  
個別支援計画策定率 95%



## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・制度登録（災害時要援護者登録）と個別支援計画の策定の支援により、要援護者に対する自治会や近所で見守りが必要な人の支援体制づくりにつながっている。
- ・制度を活用した地域の見守り支えあい活動の提案や、既に活動されている見守り支えあい活動に対して制度の活用を進めることで、策定率の向上だけでなく、実活動に結びついた制度利用を進めることができている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・いざという時の支援体制を平常時から備えておけるので安心です。（自治会長）
- ・見守り活動や要援護者の情報管理のため、個別の情報は役に立ちます。（自治会長）

## 地域・介護連携会議（開催回数）

## 1. 事業実施概要

市内4地域で、地域福祉課と介護事業課の専門職が日常業務中に発見した地域課題やニーズを確認し、新たな事業・取組へつなげる。

- ・開催回数 48回

## 2. 事業成果および課題

## 【成果】

- ・地域福祉担当者と介護事業担当者の連携により、地域ニーズに応じた新たな福祉サービスの提案や活動が出来ている。
- ・地域課題や生活課題を抱える人を中心とした多職種ネットワーク化ができている。

## 3. 参加者・住民の評価・声

- ・訪問時に気づいた、サービス利用者の家族が抱える課題について、他職種連携により解決にむけた取り組みを話し合うことができた。（介護ヘルパー）



### 3-③ 協働と参画による地域づくり

#### 地区別地域福祉推進事業【地域ケア会議】（地区活動計画策定数・率）

##### 1. 事業実施概要

- 平成26年度計画策定地区（4地区）  
六荘、西黒田、虎姫、びわ
- 平成26年度計画協議（懇談会、策定委員会等）開催地区  
六荘（6回）、神照（1回）、西黒田（6回）、浅井（5回）、虎姫（3回）、びわ（3回）、  
湖北（4回）、余呉（5回） 8地区 合計33回
- 平成27年度計画策定予定地区  
長浜、六荘、南郷里、北郷里、神田、浅井、湖北、高月、木之本、余呉、西浅井

##### 2. 事業成果および課題

###### 【成果】

- ・各地区の福祉課題・ニーズに応じた地域福祉活動を推進する基盤づくりとなっている。
- ・地域にあった地域福祉を計画的に推進できる目標の共有ができています。

##### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・日常で感じる地域福祉課題を確認し、必要な活動・事業へつなげられる。（地域住民）

#### 災害ボランティアセンターの機能強化（ボランティア数・訓練回数）

##### 1. 事業実施概要

災害の時に協力していただける方の養成

災害について理解していただく

登録数 26年度：44名(新規7名)

訓練回数 26年度：1回

講座 災害ボランティアセンター養成講座：1回(3日間)



##### 2. 事業成果および課題

###### 【成果】

- ・自治会で災害が発生した場合、迅速に活動に参加するなどの意識の向上につながった。
- ・講座によって新たな活動者の登録が進められた。

###### 【課題】

- ・災害講座となると受講生の参加が少なく、今後の募集の工夫は必要。



##### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・参加して災害ボランティアセンターの役割が知れてよかった、来年も参加したい。  
（受講生の声）
- ・県の災害研修に参加して、登録した仲間が集い学ぶ機会を設けてほしい（登録者）

## 地域福祉コーディネーターの配置（設置数・研修会数）

## 1. 事業実施概要

- ・設置地区 市内15地区
- ・設置人数 各地区2名
- ・目的 地域内の地域福祉活動を推進するため、地域福祉コーディネーターを配置し、各地区の地域福祉を推進している。

地区	支援状況
長 浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業および事務局支援【年35回】</li> <li>・福祉活動団体（民生委員児童委員、更生保護女性会等）事業支援【年2回】</li> <li>・自治会研修会支援【年2回】</li> </ul>
六 荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業支援【年17回】</li> <li>・地区の福祉に関わるイベント支援【年2回】</li> <li>・小地域福祉活動支援（サロン立上支援、見守り活動支援）【3自治会】</li> <li>・六荘地区地域福祉活動計画策定支援【年6回】</li> </ul>
南郷里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業支援【年14回】</li> <li>・福祉委員研修【年1回】</li> </ul>
神 照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業支援【年10回】</li> <li>・福祉活動団体（民生委員児童委員、地域づくり協議会等）【年3回】</li> <li>・神照地区別福祉活動計画策定支援【年1回】</li> </ul>
北郷里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業支援【年13回】</li> <li>・福祉活動団体（民生委員児童委員、地域づくり協議会等）【年4回】</li> </ul>
西黒田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業支援【年6回】</li> <li>・福祉活動団体（地域づくり協議会、NPO法人等）事業支援【年2回】</li> <li>・西黒田地区別福祉活動計画策定支援【年6回】</li> </ul>
神 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業支援【年1回】</li> <li>・福祉団体活動支援【1団体】</li> </ul>
浅 井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協（福祉の会）事業および事務局支援【110年回】</li> <li>・福祉活動団体（民生委員児童委員、赤十字奉仕団、ボランティア連協等）事業支援【40年回】</li> <li>・自治会研修・交流会支援【1年回】</li> <li>・浅井地区別福祉活動計画策定支援【年5回】</li> </ul>
び わ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協事業および事務局支援【年32回】</li> <li>・福祉活動団体活動支援【1団体】</li> <li>・小地域福祉活動支援（サロン活動支援、見守り活動支援）【5自治会】</li> <li>・びわ地区住民福祉活動計画策定支援【年3回】</li> </ul>
虎 姫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協（福祉の会）事業および事務局支援【年49回】</li> <li>・福祉活動団体（民生委員児童委員、赤十字奉仕団、ボランティア連協、商工会等）事業支援【年24回】</li> </ul>

### 3-③ 協働と参画による地域づくり

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虎姫地区別福祉活動計画策定支援【年3回】</li> </ul>
湖 北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区社協（福祉の会）事業および事務局支援【年69回】</li> <li>・ 福祉活動団体（民生委員児童委員、赤十字奉仕団、ボランティア連協等）事業支援【年23回】</li> <li>・ 自治会研修・交流会支援【年1回】</li> <li>・ 湖北地区別福祉活動計画策定支援【年4回】</li> </ul>
高 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区社協事業および事務局支援【年82回】</li> <li>・ 福祉活動団体（民生委員児童委員、赤十字奉仕団、ボランティア連協等）事業支援【10回】</li> <li>・ 新規サロン支援【年2回】</li> </ul>
木之本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区社協（福祉の会）事業および事務局支援【年63回】</li> <li>・ 福祉活動団体（民生委員児童委員、赤十字奉仕団、ボランティア連協等）事業支援【年38回】</li> <li>・ 自治会研修支援【年6回】</li> </ul>
余 呉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区社協（福祉の会）事業および事務局支援【年45回】</li> <li>・ 福祉団体（民生委員児童委員、ボランティア連協等）事業支援【年5回】</li> <li>・ 余呉地区別福祉活動計画策定支援【年7回】</li> </ul>
西浅井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区社協（福祉の会）事業および事務局支援【年74回】</li> <li>・ 福祉団体（民生委員児童委員、老人クラブ連合会、赤十字奉仕団、ボランティア連協等）事業支援【年15回】</li> <li>・ 自治会研修、交流会支援【年2回】</li> <li>・ 西浅井地区別福祉活動計画策定支援【年2回】</li> </ul>

#### 2. 事業成果および課題

##### 【成果】

- ・ 各地域のニーズに応じた地域福祉を推進している。
- ・ 市内全地域との連携と情報共有ができています。

#### 3. 参加者・住民の評価・声

- ・ 他地区の活動状況の情報が得やすくなったため、自分の地域の活動の参考になる。  
（地区社協役員）